



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第140号

発行日/2020.3.5

発行/ひたち生き生き百年塾推進本部

編集/百年塾情報部会



馬酔木 (アシビ)



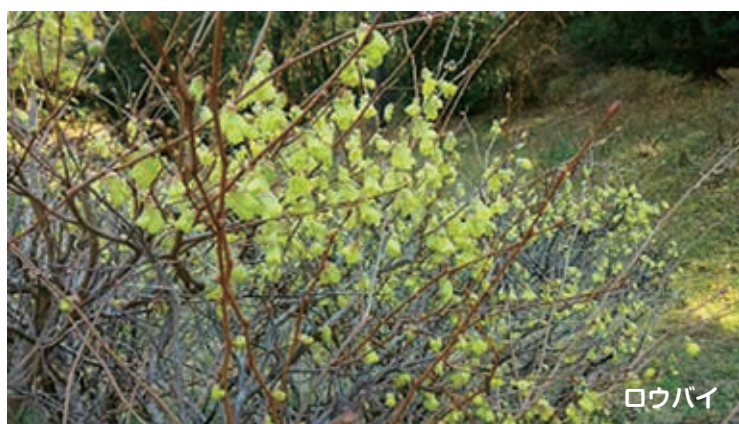
ヒマラヤユキノシタ



ツルニチニチソウ



ヒメリュウキンカ



ロウバイ



白梅



ウスギタンポポ

※ウスギタンポポは茨城県の準絶滅危惧種とされています。

暖かな陽射しの中で野山の樹々が芽吹き、
道端の草たちも元気に花を咲かせています。

春のいぶきが そこここに

【P 2】

■体験が未来をひらく

日立市職業探検少年団修了証授与式

■推進園・校報告会

■協賛金協力者 ほか

【P 3】

■常陸国風土記

■ひたち市民カレッジ受講者募集

■駅ピアノ

【P 4】

■日立の桜に魅せられて

■よろしく市民教授・

まち案内人です！

■市民教授新登録

体験が未来をひらく

～日立市職業探検少年団 修了証授与式～

2月8日(土)、ゆうゆう十王・Jホールで令和元年度の日立市職業探検少年団の合同修了証授与式が行われました。

日立市職業探検少年団は、日立市内の小・中学生がさまざまな職業の体験を通して、働くことの意味や大切さ、社会の仕組みなどを学んでいきます。今年度は147名の子どもたちが活動してきました。



この日の式典では1年間の活動の締めくくりとして、農業・林業・水産業・ものづくり・パソコン・福祉・科学・建築デザイン・観光・メディア・あきんどの計11団の団員に、各団の団長から修了証が授与されました。

続く活動発表では、メディア探

検少年団団員が司会を担当。各団の子どもたちが、映像を交えながら1年間の活動の様子を発表しました。

水産業と林業の少年団が合同で行った霞ヶ浦での湖上体験では、「山や森の腐葉土に含まれる栄養素を含んだ水が川を流れ、湖や海にそそいでプランクトンを育て、魚や貝、昆布など海の生物に恵みを与えていることを知り、森と海がつながっていることを学んだ」との発表がありました。

こうした各団の活発な活動発表から、子どもたちはさまざまな職業体験を通して、社会が目には見えなくともいろいろな部分でつながり合っていることなどを実感し、将来への夢を



描いてゆく様子が伝わってきました。

当少年団は、市制施行80周年を記念し日立市から表彰を受けました。

キャリア教育の一環として、他の自治体に類を見ない貴重な体験型学習を行っている日立市職業探検少年団を、関係者のみならず市民としてこの活動を広く長く応援してゆきたいものです。



多彩な取り組みと向上する発表力

百年塾推進園・校活動報告会2019

今年度の「百年塾推進園・校活動報告会2019」が2月8日(土)に日立シビックセンター多用途ホールで行われました。

当日は折笠修平教育長ほか、先生方や保護者、市民教授など関係者のほか一般市民も出席。幼稚園2園(中小路、水木)小学校4校(滑川、成沢、塙山、坂本)、中学校3校(駒王、台原、坂本)が発表とパネル展示で活動成果を報告しました。

各校が1年間に取り組んできた

活動は、地域の環境づくり、伝統文化の体験、地域イベントへの参加、異文化理解・交流など幅広く、地域の人たちから指導を受けたり、地域との関わりを持った内容がたくさん報告されました。

各校ともパワーポイントを使いながら分かりやすい発表を行い、出席者から大きな拍手が送られました。年々発表する力も向上し、子どもたちの成長と先生方のご指導に感謝すると共に、報告会開催の成果も感じられた会となりました。



鵜の岬・春の景勝！ 清流の桜ジオツアー

4月18日(土)

9:00～15:00(雨天中止)

場 所：日立市十王地区

参加人数：先着30名

参加費：300円

申し込み：4月以降から

電話で百年塾サロンまで

☎(23)9165

※詳細は市報4月5日号で

私たちは百年塾を応援します

2019.11.21～2020.2.15(敬称略)

佐藤純子 島崎厚子 野崎一大高明子

百年塾広報セミナー

日にち：6月上旬

会 場：日立市役所本庁

小・中学校PTAの広報委員さんを対象とした基本の講座です。※詳細は後日学校を通してご連絡いたします。

常陸国風土記の世界を訪ねてみよう ③

賀毘礼(かびれ)の高峰と薩都(さつ)の河

百年塾ひろばでは、「常陸国風土記」をシリーズで紹介しています。第3回目は、常陸太田市から日立市入四間町一帯にあたる、賀毘礼(かびれ)の山と薩都(さつ)の河を訪ねます。

賀毘礼(かびれ)の高峰

常陸国風土記では「薩都の里(常陸太田市)の東の大きな山を賀毘礼の高峰とよんでいる」とあります。

賀毘礼の高峰は神峰山説、高鈴山説などがありますが、入四間の御岩山説が最も妥当といわれています。

風土記の賀毘礼の段には次のような意味のことが書かれています。「天より降り立った立速男命(タハヤオミコト)という神がおられる。この神は初め松沢という地の松の木の上にお住まいになった。この神の祟りは大変厳しく、困った人々が天皇に訴えたところ、片岡の大連(オホムラジ)を派遣、神を敬い祀った。『神よ、あなたの居る場所は村から近く不浄の地で、神の住む場所には適しません。もっと高い清浄な地にお移りくださ

い』とお祈り申し上げた。神はその祈りを聞き入れ賀毘礼の高峰にお登りになった」とあります。この神は、人々に災いをもたらす神とされる一方、春には地上に降り、秋には山に戻る稲作の豊穰を司る神との説があります。

御岩山はその名の通り険しい岩山で、山頂の岩場は修験者の修行の場となっていました。大正・昭和時代の調査では御岩山頂から縄文時代の土器・石器のほか、奈良



御岩山の山頂

～平安時代の祭祀に使われた土器類の破片も発見されています。ふもとの御岩神社は188柱の神が祀

られた神仏混淆の珍しい霊場で、江戸時代には水戸藩主が代々参拝した祈願所でもあります。近年、パワースポットとしても有名になり多くの人が訪れています。

薩都(さつ)の河

常陸国風土記によると、「賀毘礼の高峰の近くに小川がある。薩都の河と名付ける」とあり、川は里川と考えられています。常陸太田市里野宮の里川流域に788年に創祀されたとする薩都神社もあります。

里川は北の福島県境から発し常陸太田市南部で久慈川に合流しています。中里地区の里川流域には古来より人々が暮らし、河岸段丘が発達した地形で現在はリンゴなどの果樹栽培が盛んです。

御岩神社の静寂な雰囲気と御岩山頂の重なり合った岩々の荘厳な姿を見て、信仰の世界を体感したり、中里地区の果樹園にも足をのばし秋の味覚を楽しむのも一興でしょう。

※参考：日立市郷土博物館発行
「常陸国風土記にみる日立」
※写真撮影・提供：矢野徳也さん

受講者
募集

第13期 ひたち市民カレッジ

今年こそ カレッジに行こう!

市民の皆さんが豊かな人生を送るための楽しい学びの場の提供と地域やまちづくりのための人材育成を目的とします。仲間と出会って楽しく学びましょう。

■日 時 6月10日～10月21日(毎水曜日9:30～14:30) 全15日
※夏休みあり(8月)

■場 所 茨城キリスト教大学、日立市教育プラザほか

■募集人員 30名程度(先着順)

■内 容 大学の教員など多彩な講師による生涯学習講座
ジャンルは「地域に学ぶ」「新しい知識」「出会い感動」「仲間づくり」

■受講料 6,000円(日立市外の方は8,000円)
(そのほかに自主活動費、教材費等の自己負担があります)

■申込み 5月26日(月)までにハガキかFAX、Eメールで「市民カレッジ申込み」と住所、氏名、性別、生年月日、電話番号を明記してください。

ひたち生き生き百年塾推進本部(百年塾サロン内)
〒317-0064 神峰町1-6-11

FAX 24-5200、Eメール iki100j@net1.jway.ne.jp

■問い合わせ 百年塾サロン ☎ 23-9165
(「募集案内」は各交流センターなどにあります)

■共 催 茨城キリスト教大学

駅ピアノ



昨年9月から日立駅自由通路にピアノが置かれ、美しいメロディーが流れてきます。誰でも自由に弾けるこのピアノ、駅を利用する人たちの心を温かくしてくれます。



日立の桜に魅せられて 山川 敏夫さん

日立の桜の研究で活躍されている山川敏夫さん。定年退職を機に、やりがいがあり日立に役立つことをしたいと始めたそうです。

日立の桜の歴史を紐解き、日立鉾山の煙害対策から始まったオオシマザクラ（大島桜）、戦後の平和通りのソメイヨシノ（染井吉野）から現在に至るまでを丹念に調べました。さらに日立市全域の桜の品種、開花時期なども調べて冊子にまとめ、市民教授に登録、講座も開いてきました。山川さんによると日立の桜は60数種類あり、四季桜や寒桜を含めると10月から6月頃までは桜を楽しめるそうです。

日本桜の会会員としても活躍され、平和通りや大学通りの桜の保護活動にも関わり、かつてNHKの番組で日立の桜を全国にアピールしたこともあり、八重咲きの里ザクラが主な大学通りでは、道路整備のため桜が一部撤去されましたが、平成25年から再度植栽に力を入れてきました。



桜への思いを語る山川さん

桜には人それぞれの思い入れがあり、どの桜もそれぞれに美しいと話す山川さんは、桜の根もとや幹にも生命力があり魅力を感じるそうです。

半年は桜を見て歩き、半年は資料を纏めているほか、86歳の今でもドイツ語を勉強されている山川さん。「桜から元気をもらっているから続けられます」と話し、桜の開花を心待ちにされています。

市民教授登録

2019.12月～2020.2月に登録の方(敬称略)

- 六車正道／西成沢町
(スマートフォン活用)
- 塚本裕宥／金沢町
(言志四録に学ぶ)
- 小沼康子／城南町
(健康ダイエット体操)

よろしく 市民教授・まち案内人です！

百年塾には、あらゆるジャンルに約230名の市民教授が登録しています(2月末現在)。

「山はいいな～」と思うから登る

すがや まさひろ
菅谷 政宏さん(登山)



山岳コーチとして各地で登山講習会の講師や情報誌「わくわくライフいばらき」に登山の紀行文の連載などで活躍の菅谷さん。

岩手の山国育ちで『新田次郎』の山岳小説が好きな菅谷さんが登山を始めたきっかけは、50年ほど前に『ある町の高い煙突』に感動。その後、小説の主人公のモデルとなった関右馬允氏のご子息が会長を務める山岳会を知って入会、本格的に山登りを始めたそうです。

菅谷さんは、「山に登る目的は、『そこに山があるから』とのジョージ・マロリーの名言もありますが、私はただ『いいな～』と思うから登ります」と。

ゲストティーチャーとして中学校などでは、山登りの楽しさや自然の美しさを語ると共に、自然が相手の登山は危険も伴い、それらを事前に知って安全に山登りをする事の大事さを伝えています。みなさんにも山登りを通して多くの感動をぜひ体験してほしいと話します。

笑顔でいきいきとまち案内

さがわ ももこ
佐川百百子さん(日立のまち案内人)



十王在住の佐川さんは約1年前、市報でまち案内人の募集を知り、十王以外にもっと日立全体の知識を得たいと応募しました。

まち案内人になってからは、先輩たちが作ったマニュアルを覚え、現地研修や実施体験を通して日立の事を伝えられるようになってきました。

案内する時には楽しく紹介する事を心がけ、ご自身でも今まで見過ごしていた銅像や碑を見つけると興味がわき、調べたりしているうちに歴史的なつながりなどがわかってきて、さらにおもしろくなってきたそうです。

まち案内を通していろいろな国の人や他県の人たちと交流できるのも楽しく、ご家族からも「楽しそうにやってるね」と言われるとのこと。

今後は、まち案内の分野を広げて、岩めぐりや芭蕉の通った道などを案内してみたいと笑顔で抱負を語ってくれました。

■百年塾サロン(窓口)では 以下の業務を行っています

- 百年塾推進委員登録の受付
- 市民教授の登録、紹介
- 講座・講演の受付
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部

百年塾サロン(日立市教育プラザ1F) 〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

☎0294(23)9165 FAX 24-5200

E-mail iki100j@net1.jway.ne.jp

ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>

【事務局】日立市教育委員会 生涯学習課

〒317-8601 日立市助川町1-1-1 ☎050-5528-5126

